

令和7年度 学校関係者評価報告書

□基本方針

企業委員、卒業生委員、地域住民委員により、自己評価結果の項目について評価を行う。次年度に向けた重点目標を設定し、全職員にて共通の認識をもち、副校長を中心に改善策を検討し、年度ごと改善に向け取り組んでいく。

□実施について

令和7年度の学校評価委員会を開催し、直近の自己評価報告をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

実施日 令和7年8月23日（土）
参加者 企業委員1名
卒業生委員1名
学内委員1名 伊藤友和（進行、まとめ）

□評価について

項目	評価、評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標	・変える必要は特にない ・特に問題はない
(2)学校運営	・適切に運営されていると感じる ・学校としての新しい取り組みを積極的にWebサイトで公開するとよい。 特に、本年度より大学併修コースを新設し学習を進めている。しっかりと周知してもらえるように表現を工夫する ・特に問題は感じない。
(3)教育活動	・学生の就職活動において、今後は、検定取得状況による採用試験の足切りも想定されるので、検定に対する対策をさらに充実されるとよい。 ・ITの人材不足が懸念されており、プログラミング言語の授業をもっと増やしてはどうか。
(4)学修成果	・製造業に関係が深く就職につながるような科目を充実させるとよい。 システム開発職は毎年一定数就職しているので、設計職（CAD）へ就職が少ないので力を入れていけるとよい ・大学併修コースが始まり、学生たちも慣れない中ではあるが、一生懸命に学んでいる。
(5)学生支援	・支援の一環として、カウンセラーなどの配置をしてはどうか。 ・奨学金制度などが充実してきているので、経済的に進学が難しい家庭からも入学してくるケースが増えつつある。

(6) 教育環境	・より最先端の開発、作品制作ができるように、さらにハイエンドPCを充実してはどうか。 ・パソコン以外でも必要なコンピュータ機器を導入している。
(7) 学生の受け入れ募集	・学生のCG作品等を活用して、SNSを使った発信をしてはどうか。学生も作品発表の場となり、生徒募集もできることになれば、メリットは大きいと感じる。
(8) 財務	・適切な学生募集が、よい財務状況につながる。積極的に学生募集を行ってほしい。 ・学園全体での適切な運営ができるとよい。
(9) 法令等の遵守	・対応できている。 ・特に問題はない。
(10) 社会貢献・地域貢献	・地域社会の祭りなどの運営サポートを行うなどした。 ・概ね適切である。
(11) 国際交流	・受け入れ態勢を整えることが難しい。人的・施設のなど ・現状、無理をして留学生を受け入れるべきではない。

□総評

- ・学校として問題は感じない。
- ・さらに魅力ある充実した学校を目指してほしい。
- ・今後も長く持続できる学校運営を行ってほしい。